

2007. 2. 8

# 三本の矢・好循環は形成されるか

法政大学学事顧問

清成忠男

# 1 問題の所在

## (1) 格差解消

縁辺労働力(梅村又次氏)の底上げが必要

## (2) 中小企業の生産性向上

基幹労働者の確保が必要

## (3) 中小企業の労働力

需給ギャップが大

## 2 中小企業の特徴

(1)非製造業が85%

業種別格差が大

(2)成果のバラツキが大

一部は脱落

(3)高付加価値部門に移行

経営資源の高度化

# 3 中小企業の底上げ

(1)新旧交代で底上げ

新しい中小企業部門の形成

(2)「誕生権経済」の実現

The Birthright Economy

「機会の平等」を保証

(3)新しい市場秩序の形成

中小企業・ベンチャーのガバナンス

# 4 中小企業基幹労働力の特徴

## (1)問題把握力

問題発見力、解決力

## (2)新しい方法や目標に対するイメージ力

想像力、創造力、すり合わせ

## (3)「地頭」の良さ

教育力も

# 5 基幹労働力の形成

(1) 技能から技術へ

経験から知識へ

暗黙知の形式化

(2) 全体に対するイメージ

クレーム処理の有効性

(3) 教育力

後輩の指導

# 6 縁辺労働力の再生

## (1)再教育・訓練

有効な仕組みづくりを

## (2)デュアル・システム

座学とOJT

## (3)若者の場合

親の協力が必要

子離れ

# 7 縁辺労働力の発生を断つ

(1) キャリア形成を支援

人生設計

(2) 学校におけるキャリア教育

インターシップも

(3) 専門能力の形成

自立が可能に

# むすび

(1)問題のある格差と当然の格差

能力差

(2)能力のある非正規雇用者の正規化

企業の社会的責任

(3)ヨーロッパ型新自由主義の見直し

市場を支える秩序を重視

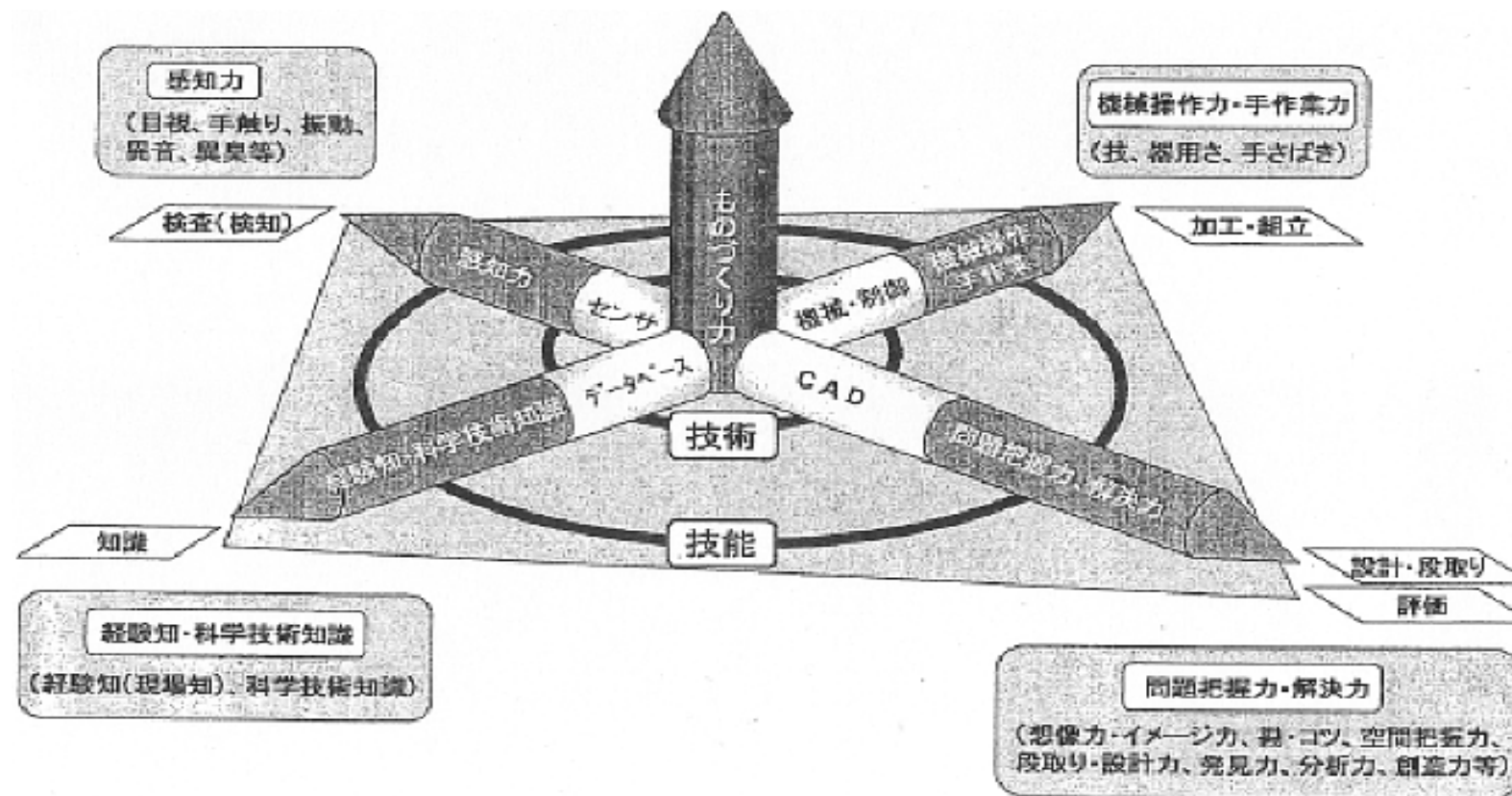


図 II -1-6 「ものづくり力」を構成する 4 要素